

四半期報告書

(第85期第2四半期)

自 平成25年7月1日

至 平成25年9月30日

小倉クラッチ株式会社

目 次

	頁
表 紙	1
第一部 企業情報	
第1 企業の概況	
1 主要な経営指標等の推移	2
2 事業の内容	2
第2 事業の状況	
1 事業等のリスク	3
2 経営上の重要な契約等	3
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	3
第3 提出会社の状況	
1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	5
(2) 新株予約権等の状況	5
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	5
(4) ライツプランの内容	5
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	5
(6) 大株主の状況	6
(7) 議決権の状況	6
2 役員の状況	6
第4 経理の状況	7
1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	10
四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
2 その他	18
第二部 提出会社の保証会社等の情報	19

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第85期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	小倉クラッチ株式会社
【英訳名】	OGURA CLUTCH CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小倉 康宏
【本店の所在の場所】	群馬県桐生市相生町二丁目678番地
【電話番号】	(0277) 54-7101（大代表）
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員（経営管理本部担当） 河内 正美
【最寄りの連絡場所】	東京営業所 東京都港区浜松町一丁目10番12号 第一共栄ビル
【電話番号】	(03) 3433-2151（大代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員（営業本部長） 猪越 義彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第84期 第2四半期連結 累計期間	第85期 第2四半期連結 累計期間	第84期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高（百万円）	18,241	19,332	34,216
経常利益（百万円）	179	532	294
四半期（当期）純利益（百万円）	91	301	130
四半期包括利益又は包括利益 （百万円）	54	1,162	885
純資産額（百万円）	12,209	14,067	13,025
総資産額（百万円）	35,908	37,603	35,981
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	6.08	20.14	8.73
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	33.47	36.79	35.68
営業活動による キャッシュ・フロー（百万円）	690	1,079	1,633
投資活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△409	△500	△768
財務活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△189	△130	△693
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（百万円）	4,932	5,519	4,920

回次	第84期 第2四半期連結 会計期間	第85期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 （円）	△2.17	6.77

- （注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は次のとおりであります。

平成25年5月に輸送機器用、一般産業用の各種クラッチ・ブレーキ等の製造および販売を行うことを目的として、小倉離合機（長興）有限公司を新規設立しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国は堅調な住宅投資等から緩やかな景気回復が続いてまいりましたが、欧州は景気低迷が長期化し、中国では輸出の失速等から景気減速が懸念される状況にあります。

一方、日本経済においては、アベノミクス効果への期待の高まりや、金融政策等による円高の是正等から緩やかな回復基調にあります。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、為替の影響による増加等もあり、19,332百万円と前年同期と比べ1,090百万円の増加（前年同期比6.0%増）となりました。このため、営業利益は415百万円と前年同期と比べ186百万円の増加（前年同期比81.7%増）、経常利益は532百万円と前年同期と比べ353百万円の増加（前年同期比197.3%増）、四半期純利益は301百万円と前年同期と比べ210百万円の増加（前年同期比231.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、欧州の販売は、長引く景気低迷の影響を受け苦戦を強いられましたが、北米及びアジアの販売は順調に推移してまいりました。

その結果、売上高は14,753百万円と前年同期と比べ1,491百万円の増加（前年同期比11.3%増）となり、セグメント利益は481百万円と前年同期と比べ221百万円の増加（前年同期比85.3%増）となりました。

②一般産業用事業

一般産業用事業においては、変減速機業界、昇降・運搬、印刷・製本業界向けの販売は、増加となりましたが、モーター、OA機器、金属工作業界向けの販売は減少となりました。

その結果、売上高は4,218百万円と前年同期と比べ474百万円の増加（前年同期比12.7%増）となり、セグメント損失は13百万円と前年同期と比べ11百万円の減少（前年同期は25百万円のセグメント損失）となりました。

③その他

その他では、売上高が360百万円と前年同期と比べ875百万円の減少（前年同期比70.8%減）となりました。セグメント利益は25百万円と前年同期と比べ3百万円の減少（前年同期比11.9%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,079百万円となり、前年同期に比べて388百万円収入が増加しました。これは主に税金等調整前四半期純利益500百万円と減価償却費512百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は500百万円となり、前年同期に比べて90百万円支出が増加しました。これは主に有形固定資産の取得による支出521百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は130百万円となり、前年同期に比べて58百万円支出が減少しました。これは主に配当金の支払による支出119百万円によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は168百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	15,533,232	15,533,232	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	15,533,232	15,533,232	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	—	15,533,232	—	1,858	—	1,798

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
第一共栄ビル株式会社	東京都港区浜松町1-10-12	2,196	14.13
小倉クラッチ取引先持株会	群馬県桐生市相生町2-678	1,001	6.44
小倉 康宏	東京都港区	815	5.24
株式会社東和銀行	群馬県前橋市本町2-12-6	742	4.77
株式会社群馬銀行	群馬県前橋市元総社町194	739	4.75
有限会社アイ・オー	群馬県桐生市相生町2-678	682	4.39
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内1-3-3	586	3.77
高橋 正義	東京都世田谷区	430	2.76
小倉クラッチ従業員持株会	群馬県桐生市相生町2-678	319	2.05
富国生命保険相互会社	東京都千代田区内幸町2-2-2	235	1.51
計	—	7,746	49.86

(注) 当社は自己株式を543千株所有しておりますが、当該株式には議決権がないため、上記の大株主には含めておりません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 543,000 (相互保有株式) 普通株式 17,000	—	単元株式数1,000株
完全議決権株式 (その他)	普通株式 14,859,000	14,859	同上
単元未満株式	普通株式 114,232	—	—
発行済株式総数	15,533,232	—	—
総株主の議決権	—	14,859	—

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合 (%)
(自己保有株式) 小倉クラッチ株式会社	群馬県桐生市相生町 2-678	543,000	—	543,000	3.49
(相互保有株式) 信濃機工株式会社	長野県埴科郡坂城町 坂城1984-1	17,000	—	17,000	0.10
計	—	560,000	—	560,000	3.60

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,359	7,033
受取手形及び売掛金	10,175	11,041
有価証券	48	5
商品及び製品	3,370	2,908
仕掛品	2,328	2,472
原材料及び貯蔵品	1,501	1,540
繰延税金資産	131	128
その他	650	633
貸倒引当金	△171	△185
流動資産合計	24,393	25,576
固定資産		
有形固定資産	9,425	9,822
無形固定資産		
その他	197	192
無形固定資産合計	197	192
投資その他の資産	1,965	2,012
固定資産合計	11,587	12,027
資産合計	35,981	37,603
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,056	8,193
短期借入金	8,779	9,167
未払法人税等	48	106
賞与引当金	227	270
その他	1,215	1,161
流動負債合計	18,327	18,900
固定負債		
長期借入金	3,156	3,120
繰延税金負債	243	247
役員退職慰労引当金	435	448
退職給付引当金	139	131
関係会社整理損失引当金	160	156
資産除去債務	24	24
その他	468	507
固定負債合計	4,628	4,635
負債合計	22,955	23,535

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	10,765	10,947
自己株式	△343	△343
株主資本合計	14,125	14,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291	312
為替換算調整勘定	△1,580	△786
その他の包括利益累計額合計	△1,288	△474
少数株主持分	187	234
純資産合計	13,025	14,067
負債純資産合計	35,981	37,603

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	18,241	19,332
売上原価	15,968	16,649
売上総利益	2,273	2,682
販売費及び一般管理費	注1 2,044	注1 2,266
営業利益	228	415
営業外収益		
受取利息	13	20
受取配当金	16	17
為替差益	—	153
不動産賃貸料	39	31
その他	30	44
営業外収益合計	100	267
営業外費用		
支払利息	102	105
手形売却損	7	5
持分法による投資損失	2	4
為替差損	4	—
その他	33	35
営業外費用合計	150	150
経常利益	179	532
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
投資有価証券評価損	6	32
特別損失合計	7	32
税金等調整前四半期純利益	173	500
法人税、住民税及び事業税	88	174
法人税等調整額	△0	5
法人税等合計	87	180
少数株主損益調整前四半期純利益	86	320
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△5	18
四半期純利益	91	301

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	86	320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△102	20
為替換算調整勘定	66	793
持分法適用会社に対する持分相当額	3	27
その他の包括利益合計	△31	842
四半期包括利益	54	1,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42	1,115
少数株主に係る四半期包括利益	11	46

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	173	500
減価償却費	463	512
のれん償却額	△2	△2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	43
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△24	△8
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	20	12
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△3	△3
受取利息及び受取配当金	△29	△37
支払利息	102	105
持分法による投資損益 (△は益)	2	4
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	6	32
売上債権の増減額 (△は増加)	911	△385
たな卸資産の増減額 (△は増加)	327	815
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,289	△388
その他	177	13
小計	835	1,225
利息及び配当金の受取額	29	38
利息の支払額	△87	△87
法人税等の支払額	△87	△96
営業活動によるキャッシュ・フロー	690	1,079
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,310	△1,178
定期預金の払戻による収入	1,310	1,104
有価証券の取得による支出	△42	—
有価証券の売却による収入	42	42
有形固定資産の取得による支出	△563	△521
有形固定資産の売却による収入	168	62
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付けによる支出	△4	—
貸付金の回収による収入	4	0
その他	△12	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△409	△500

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,053	3,298
短期借入金の返済による支出	△3,077	△2,458
長期借入れによる収入	580	—
長期借入金の返済による支出	△599	△771
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△117	△119
その他	△28	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189	△130
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	151
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	83	598
現金及び現金同等物の期首残高	4,849	4,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	注1 4,932	注1 5,519

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、新規設立した小倉離合機(長興)有限公司を連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形割引高	130百万円	270百万円

(四半期連結損益計算書関係)

注1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
給料手当	647百万円	696百万円
荷造運賃	342	346
賞与引当金繰入額	52	62
貸倒引当金繰入額	3	10
役員退職慰労引当金繰入額	20	20
退職給付費用	45	46

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

注1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	6,370百万円	7,033百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△1,438	△1,513
現金及び現金同等物	4,932	5,519

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	119	8	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	119	8	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,261	3,743	17,005	1,236	18,241
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	13	16	—	16
計	13,264	3,756	17,021	1,236	18,257
セグメント利益又は損失(△)	259	△25	234	28	263

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	234
「その他」の区分の利益	28
内部取引消去	△13
棚卸資産の調整	△31
減価償却費の調整	7
全社費用(注)	3
四半期連結損益計算書の営業利益	228

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,753	4,218	18,971	360	19,332
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	2	15	—	15
計	14,766	4,220	18,987	360	19,347
セグメント利益又は損失(△)	481	△13	468	25	493

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	468
「その他」の区分の利益	25
内部取引消去	3
棚卸資産の調整	△87
減価償却費の調整	5
全社費用(注)	0
四半期連結損益計算書の営業利益	415

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
1 株当たり四半期純利益金額	6円08銭	20円14銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (百万円)	91	301
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (百万円)	91	301
普通株式の期中平均株式数 (千株)	14,992	14,990

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

小倉クラッチ株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森田 亨 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 宮一 行男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている小倉クラッチ株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、小倉クラッチ株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。